



# ジャーナリズム論

第12回 災害/人災とジャーナリズム

# 今日の予定

## ジャーナリズム論(12)

- ・ジャーナリズムで問題となることのおさらい
- ・ニュースとの距離感、事件との距離感、自分の立ち位置について考える
- ・あなたなら、災害や人災、戦争/戦争の歴史、立場の分かれる負の歴史など、センシティブな問題になりかねないテーマをどう伝えるか？（逆の場合も。伝えられたことを聞く側）
- ・災害に関係する報道で言われていること:
- ・技術面と伝達方法の面で行われている試み
- ・先生の経験、海外の場合と日本の場合
- ・レスポンスを書く時間

レスポンス番号

**000-0000-0000**

## 今日考えること

- あなたら災害や人災、戦争/戦争の歴史、立場の分かれる負の歴史など、センシティブな問題になりかねないテーマをどう伝えるか？
- 聞く側（情報の受け手）になった場合、災害などのニュースをどう伝えてもらいたいと思うか？そもそも、そういう情報は報道機関が伝えるべきだと思うか？（可能なら、当事者と非当事者の間に生じる差を考える）
- 戦争や戦争の歴史などの負のテーマはジャーナリズムで扱うべきだと思うか？（原子爆弾の話しなど。）扱うならどう情報を共有するか？
- 災害に関しては3つ、最近みたニュースを上げてみる。負の遺産というべきか、ネガティブなニュースを見たなら、それについて3つ上げる。見た側として、その時何を思ったのか？グループと共有する
- 当事者意識の問題について、考えたことをグループと共有する

## 関係ないと思う場合は

- 日本にいるのであれば、災害に関しては避けて通れない問題なので、もし起きた場合は、ということをもまずは想定してみる
- 当事者とそうではない非当事者の立場の関係について考えてみる  
こと（経験者と非経験者）
- 災害と戦争などの話しは関係ないように見えるものの、ニュースで扱うテーマとの「関わり/距離」について考えるといい
- 「被災者に寄り添う」や「一丸となって」などといった非常事にでてきやすい言説に注意を向けてみる
- あなたが記者だったら、災害や、どこか遠くで起きている災難・人災をどう伝える？当事者かそうではないかも含め

人災・災害・負の遺産に関するニュースに関係する問題は、ジャーナリズムの問題を自分の問題として考えるのに丁度いい

人災・災害 = 地震、台風、テロ

負の遺産 = 過去の侵略戦争、ホロコーストなど

人災・災害と負の遺産を一緒に扱う

のなぜ？

人間の感情が入るテーマで、いかにして  
伝えていくか、というのが難しいテーマ

ここにプラスして、意見の分かれるテーマ、でもいい。改憲の話しなど。

重い、面白くない、難しい、めんどく  
さい、どうでもいい、で避けられる話

## これまで取り上げたジャーナリズムの問題

- ジャーナリズムの枠組み、理念、理想、定義など
- その枠組でできた実際の仕組み
- 権力（力）との関係。お金の問題、政府や企業など社会組織など力動くものとの関係
- 現在起きているジャーナリズムの問題、国際報道や、感情で動くようになったマス（世論）の問題、政治の問題など
- 若干だけ：受け手と送り手の問題

「印象操作は良くない」とか批判を見かける  
ときあるけどさ、でもさ、メディア界限ってね

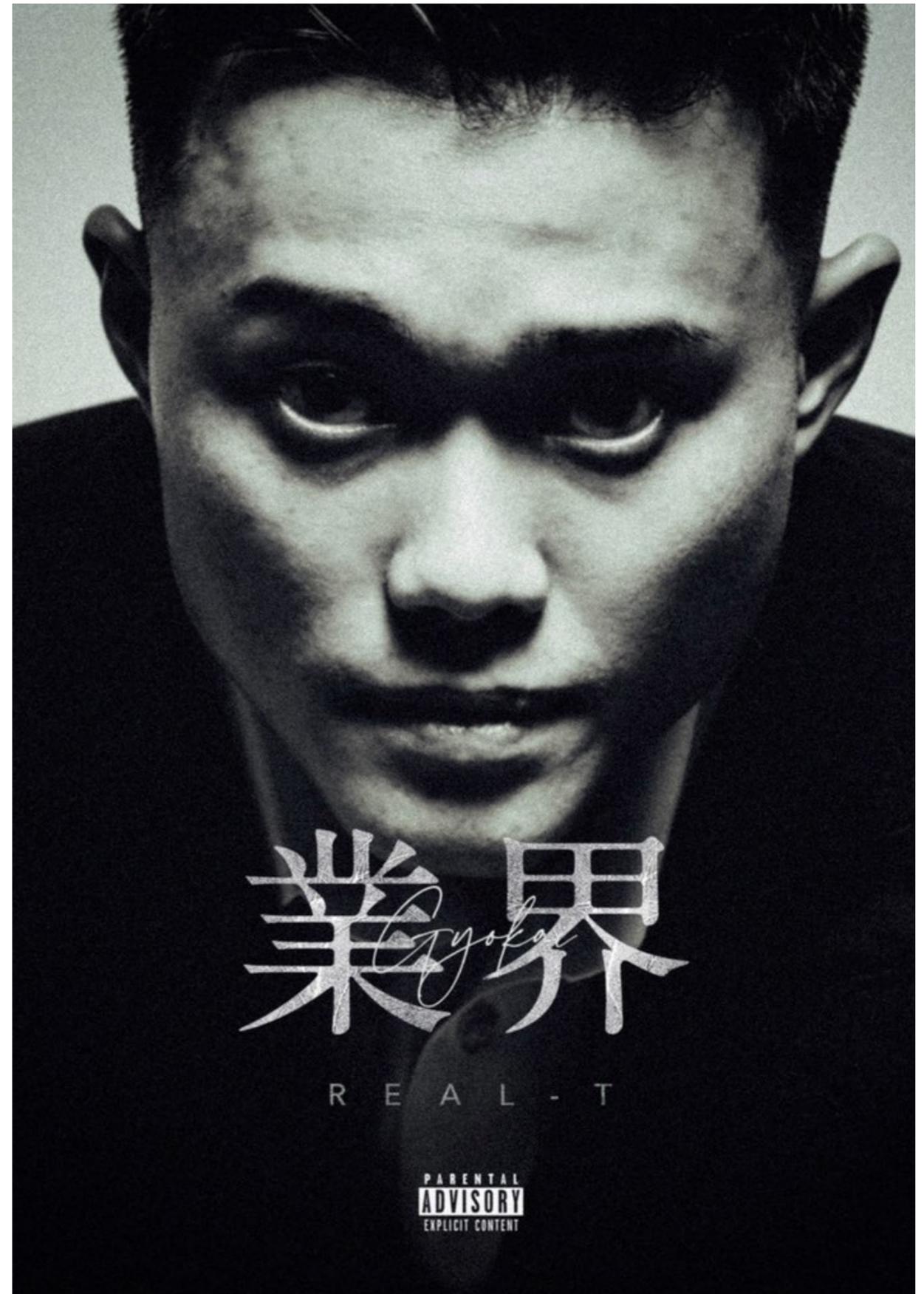
メディアやジャーナリズムの問題  
を乱暴且つ簡単に言うなら

「イメージが大事。  
着信あれば大惨事。  
全員詐欺師…」

-Thug Scene

以上の某ラップ歌詞が毎回先生の頭中でループするのね  
好きじゃないけど、なぜか毎回ループして困る

報道機関が嘘ついてるわけじゃないよ。しっかりした情報提供して  
いるよ。でもね…ってやつ。イメージ先行になっちゃう。



## メディアやジャーナリズムの問題 を丁寧に言うなら

- ・イメージは大事。
- ・ニュースは大体大惨事を扱わざるをえない
- ・ほかにも色々問題があって、信頼度に関係してしまう



- ニュースや情報って、意図しているかしないかに関係なく、特定のイメージを作りあげる（メディアに関わる問題。それを無意味に批判しても何もならない）
- イメージは送り手が想像していない形で受け手に受け止められることもある
- 印象操作してなくても、人間って皆勝手にイメージを持つ、作る、伝えちゃう、受け止めちゃう
- 人間は自分の理解できる範囲で物事を認知する。その範疇を超えた場合は認識するまでに時間を要する

受け手はイメージ先行で解釈・理解

送り手はイメージが（も）大事

# PURPOSE AND FUNCTIONS OF NEWS

## ニュースの目的と機能・特性

**Informing** (伝える)

**Educating** (教える)

**Guiding** (ガイドする)

**Entertaining** (エンターテインメント)

**Interpreting** (解釈する)

**Forming opinions** (参考意見を提示する)

**Spreading awareness** (気づかせる、自覚させる)

**Advertising** (宣伝する、広報活動する、PRする)



以上のことを考えるとジャーナリズム論  
やメディア論、社会学って重要な分野

非日常的な出来事は色々な問題が  
可視化されやすい

人災や災害に関係する報道で  
言われていること

## 負の遺産、災害、人災に関係する報道で言われていること

- ・「アニバーサリージャーナリズム」問題
- ・ケアの倫理をジャーナリズムに持ってくるべきである、とする識者がいる
- ・報道ニュースを記録として残し、「人類」の「記憶」として保存していく試みが必要とする研究者がいる
- ・当事者の視点をどう反映させるか…という問題が常に付きまとう、と主張する人がいる（弱者の問題といったことに関係する）
- ・そもそも、こういうものは気分は重くなるし、感情的にもなりかねない問題。それをどう伝えるべきか。それとも伝えないべきか

## 災害に関係する報道で言われていること

- 日本の報道機関については、災害に関する情報共有技術は優れていると言われている
- ただし、新聞社や放送局などのメジャーな報道機関は、基本東京を中心としつつも、全国向けのメディアとなるため、被災地の住民のニーズとの情報のミスマッチを起こす
- 地方では、新聞以外の取材力を持つ放送局やインターネット上の情報発信で力を持っているのがNHKぐらいに限られる
- 放送局や報道機関の支局がなければ、被災していても取り上げられることはない。

## 災害に関して

- 災害時は短時間の間に、どのような情報を加えるのか、何をどう、誰が伝えるのか、が問題になる
- 災害後も上記と同じだけれども、「誰がどの立場」で加わる
- 災害後のことについては、その後のことをどう伝えるかという話しになってくる

災害情報に関して、技術面と伝達方法の面で行われている試み

## 技術面と伝達方法の面で行われている試み

- L字放送技術、インターネットとの同時放送など
- 危険を知らせるときの表現方法については、様々な試みが行われてる

この点に関しては、ジャーナリズムと直接関係がないと先生は理解するけど、一応重要

過去の歴史、紛争区域のことや、タブー  
な話題に関して

過去の歴史に関して（日本の太平洋戦争を例にしてみようか）

- 8月15日のアニバーサリージャーナリズム
- 大抵は、どの立場にいるかでテーマの扱い方が変わる（例、第二次世界大戦終戦の扱い）
- 侵略戦争と見るか、過去の過ちと見るか、自虐史観だから違う視点が必要と言うか

## 過去の歴史に関して（先生のアメリカの大学での経験談）

- ・「原爆を落としたことで日本は降伏した」論調のニュース記事
- ・だから原爆は良かったとする論調を学生達が記事に基づいて主張してた
- ・一つの真実を記事は示してたけれども、「日本国籍」を有する「当事者」に該当する者として、戦争責任に関するテーマで吊し上げの対象に。
- ・先生は長崎に小学生の頃住んでいて、そこで原爆は良くない、原子力はなくすべき、という教育を受けてたことから、素直に何も考えず原爆は良くないと反論したら、余計叩かれて対話ができない状況に。
- ・19歳ぐらいのな一んもわかってない先生には正直、なんでこんな攻撃と  
いうかやたら日本が悪いと自分に対して言われるように感じてしまうの  
か意味が理解できなかった。同時に、勉強と考えるきっかけにはなっ  
た。

## 負の遺産、意見の分かれる重いテーマに関して言えること

- どうやって全体像を捉える？
- 当事者と非当事者かで温度差が生じる。テーマに対してどれだけ関心あるかでも温度差が生じる。それを埋めるべき？ほったらかしにする？
- ああいえば、こういう議論が続くことに関して、どうやって対応したら良いと思う？
- めんどくさい、関わらない、臭いものには蓋をする、で済ませることもできるけれども。
- でもそれって、今日本の報道機関がしてきたと、一部批判されてきた…

先生の経験、  
海外の場合と日本の場合

## 海外の場合

- 海外の場合（米国、英国、独、西国など）警察、消防、自治体、行政が情報発信の術を整えていて、それぞれが手元にある情報を提供してる
- 戦争の場合は、当然だけれども、現地の人のことを熟知した外国語のできる記者を取材にいかせる場合が多い
- プロのジャーナリストの場合、当事者によりそってという考え方はそれほどなく、割り切っている場合が多い（アメリカの場合）ただし、手記などに感情を記して、出版するなどして伝える場合がある
- 非常事態の場合は色々な機関が情報を共有するので、現場では情報共有だけでも混乱すること多し。
- 元科学者、元医者などが解説員になったり、記者や特派員 (Correspondent) になる場合がある

## 日本の場合

NHKや民間放送のL字放送と言われるニュースは評価されている模様

報道機関の使命というものを真面目に受け止めており、そこは評価されているものの、それは報道機関がやることなの？という情報も提供している

東京中心あるいは東京集中型である場合が多く、その弊害について指摘される場合が多い

## 先生の余談

- 当事者と非当事者の視点が異なる、という当たり前のことが、報道では物凄く問題となる、ということ  
は痛感した
- それが、他の県や国の出来事のニュースを見る時と  
同じということも理解した
- 報道機関の対応が批判されることがあるけれども、  
報道機関が報道しないと誰も気につけない、意識し  
ない、ということも理解した（東日本大震災時の茨  
城県と青森県）

## 先生の余談

- 東京一極集中は緩和しないとまずい。情報が偏る。物事の原因が全部東京基準になってしまうのはいいけれども、災害の場合は困る
- ニュースで放送される内容に、見てる人がどれだけ身近であるかということと、地理的な距離なども関心度に影響することは、体感した（この距離については、研究もなされている）

## 先生の余談

- 遠いところで起きたことに関して「無関心ではよくない」と言ったりするのは、実は無意味であって、なぜそうなるかはきちんと理解しないといけない
- 報道機関は「このテーマについて関心を持つべきだ」という提示をしているし、逆に多くの人々が「関心を持つだろうテーマ」を扱う、ことをそれぞれの視点で決めている
- 以上のことを理解しはじめると「そのテーマについては勉強が足りません」あるいは「どうでもいいと思っている」と強い意思で、その理由とともに正直に言うことができるようにはなった

## 先生の余談 (負の遺産)

- 負の遺産 (原発、戦争、紛争、その他過去の政治問題、etc)を理解し、話すことになったら、真摯に向き合うしかない
- 受け手・聞き手・非当事者は、面白さ、見たさばかり追求しても仕方ない
- 送り手は、一定の軸を決めた上で、可能な範囲で全体像を伝え、どう理解するべきか伝えないといけない (はず)

## 先生の余談

- ジャーナリズム研究に関しては「災害ジャーナリズム」「リスクコミュニケーション」なるものが注目を浴び始めたように見える
- 取材しにきたジャーナリストのことも余裕があるなら気にかけてほしいねと思うようにはなった
- 情報共有手段については、報道機関以外のところもあったほしいと思うようになった

- ジャーナリズム、というカタカナの活動に関しては、ニュースだけに限定せず、もう少し広く捉える必要があるのかと思うようになった。
- 災害が終わった後のことについても記録に残す方法は考えたほうがいいし、ドキュメンタリーも含めたものにしたほうがいいよね
- あんまり意識しないかもだけれど、コロナ禍の状況も災害だよ…ニュースや情報の流れ、今あなたが置かれてる状況少し意識してみ？ジャーナリズム論の小難しい話してて意外に身近な問題と気づくはず？

## 先生の余談

- 非常事態時は、ジャーナリズムに関係する問題をよく理解できる機会ではある（よくないけど）
- ジャーナリズム的な活動を超えた部分、情報共有に関わる核心的な問題も理解できる
- 送り手の問題となる部分: 誰が、どのような立場で、どのように、いつ、どこで、どの媒体を利用して？誰に向かって。
- 受け手の問題: 誰が、どのような立場で、どのような状況で情報を受取るか。どの媒体で。関心度は？

## 今日考えること

- あなたら災害や人災、戦争/戦争の歴史、立場の分かれる負の歴史など、センシティブな問題になりかねないテーマをどう伝えるか？
- 聞く側（情報の受け手）になった場合、災害などのニュースをどう伝えてもらいたいと思うか？そもそも、そういう情報は報道機関が伝えるべきだと思うか？（可能なら、当事者と非当事者の間に生じる差を考える）
- 戦争や戦争の歴史などの負のテーマはジャーナリズムで扱うべきだと思うか？（原子爆弾の話など。）扱うならどう情報を共有するか？
- 最近みた意見の分かれるニュース、災害、人災、大きな事件ニュースを上げてみる。見た側として、その時何を思ったか？他の人と共有する
- 当事者意識の問題について、考えたことをグループと共有する

おまけ（災害とか負の遺産とか言うのを考えるのはちょっと思うのであれば）

- 意見の分かれるテーマを対象にして、今日の当事者・非当事者の問題、関心・無関心の問題を考えてみるといい
- 例: LGBTQ、改憲の問題、税の問題、報道のあり方の問題
- こういったテーマを、貴方が記者になった場合はどうやって伝える？

お疲れ様でした

**000-0000-0000**